

BETHEL 2015年2月号(第139号)

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000
ホームページ <http://www.bethel.or.jp/>

戦後70年を迎え、急速な少子・超高齢化社会が到来しました。国が奨める政策に、医療・福祉分野の従事者は、戸惑いを感じつつも時代の流れに取り残されないよう情報収集に努め、国の奨める政策が、『皆様のこれからの生活を少しでも心豊かなものとなるように』と考えています。医療の現場では、医療の限界は何処にあるか。またその限界をどのように受けとめ日常生活に戻るかということを考えています。団塊世代が80歳を迎える2025年からは、どのような時代になるのでしょうか。身近に生活支援の必要な家族ができたとき、ご本人は何をしたいのか。どのようにしたいのか。又、ご本人の望むことが家族の中でバランスを崩さず可能なことなのか。核家族化し、家族のつながりが貧弱になった今、難しい課題が我々国民に投げかけられています。

私たち医療者は、培ってきた知識と経験から、家族のバランスを崩さず、なお且つ長年頑張っておいでた先輩方に敬意を表し、入院時から患者様の人生とその家族に注目し、生活を分断しない医療の提供を考えなければなりません。

2014年10月から当院は、地域包括ケア病棟を26床新設いたしました。①総合病院等での急性期治療が終了し、もう少し経過観察の必要な方、②在宅・生活復帰に向けて積極的なリハビリが必要な方、③在宅療養中の患者さまの急性期の対応等や在宅療養中の方で在宅療養に不安を感じ始めた方々が入院し、必要な医療を考えつつ、今後の生活の方法等を考える病棟です。生活支援の必要なご家族がいてお困りの方、かかりつけ医や医療相談窓口でご相談ください。私たちが精一杯お手伝いさせて頂いています。

当院には御存知のとおり、緩和ケア病棟、特殊疾患病棟、地域包括ケア病棟、障害者施設等一般病棟、療養病棟があります。増改築が終了して一段落した今、2015年1月に、病棟の看護師長が替り、新たなスタートを切りました。緩和ケア病棟には川久保看護師長、特殊疾患病棟に松本看護師長、地域包括ケア病棟に善家師長、障害者等一般病棟に村上看護師長、療養病棟に稲葉師長となりました。それぞれの看護師長の経験や発想が、看護の質上げに貢献できると考えています。(次月よりそれぞれの師長が、抱負や思いを語ります。)

少し堅い話になりましたが、新病棟の新設や病棟の看護師長の異動があっても、松山ベテル病院の目指すところは、何一つ変わりません。

キリスト教の『愛の精神』を基本理念としたホスピス精神を大切にした全人的なケアの実現です。長年、松山ベテル病院をご利用くださっている方々・支援頂いている方々のご期待に添える看護の提供をしますのでご安心ください。

(看護副部長 中野 民子)

放射線とは

前回に引き続き、放射線について少し説明を致します。

放射線は、体内部の構造や変化を調べるのに適しています。X線は波長がきわめて短いので物質を透過する性質があり、その原理を応用しています。物質透過性の程度は器官や組織の比重により異なるため、通過する部位によりX線量が変わります。それが反対側の蛍光板の発光程度やフィルムの感光程度に反映されて、生体内部が写しだされる仕組みです。骨など比重の大きい部分は白く、肺など比重の小さい部分は黒くなります。簡単にいうと、X線は骨や心臓などは通過しにくく、肺などは通過しやすいため、通過した後のX線をフィルムにあて感光させると、骨や心臓は白く、肺は黒く映るなどしてその形がよく判ります。

胸部レントゲン

全ての検査の中で、一番見るもの（わかるもの）が多いと言えます。

1. 肺野（誤飲、肺炎、結核、COPD、肺がん など）
 2. 心臓周辺（心肥大、大動脈瘤、心膜嚢胞 など）
 3. その他（胸水、気胸、胸膜腫瘍、骨腫瘍 など）
- …ざっと挙げてみただけあります。



腹部レントゲン

腹部の痛みが主訴で検査をしますが、腸管内ガス像異常（腸閉塞）、腹腔内ガス像（消化管穿孔）、石灰化（腎結石など）、臓器の形態異常などを目的にします。

脊椎レントゲン

骨折の有無、異常なゆがみ、椎間板の広さ（ヘルニア）、腫瘍などを目的にします。

四肢（手や足）レントゲン

骨折・脱臼、関節炎（リウマチ）目的がほとんどですが、骨髄炎・腫瘍も目的にします。

※上記で何かある場合には、さらにCT検査が必要になります。

被爆量に関して

胸部レントゲン写真を一枚撮影した時の放射線量は0.1 mSv（ミリシーベルト）です。これは自然放射線と比較した場合、約10分の1の量ですので、胸部写真を何回も受けたからといって体にはほとんど影響はありません。胸部レントゲン検査で受ける放射線量は全く心配ありません。

妊娠？

もしあなたが妊娠しているかもしれないと思われたときは、レントゲン検査を受ける前に、必ず医師に相談してください。

（放射線課）

外来からのお知らせ

◎ 2月の豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）外来診療日のお知らせ

2月4日（水）、2月18日（水）

◎ 2月の休診（1月22日現在）

2月17日（火）神経内科 西川 典子 医師



昨年はチャペルでコンサートを中心に 39 回の行事を開催しました。演奏等でいらして下さる方々と接して感じたのは、そこに祈りがあるということです。本番だけでなく練習されているときも含め、ベテルで療養されている方々のご家族、そしてスタッフのことを心に留めてくださっています。2015 年はオカリナのコンサートで始まり、もちつきパフォーマンスを行いました。これからは様々な行事を企画しています。チャペルで皆様のお越しをお待ちしております！

（チャプレン 中村 信雄）

【2月のチャペル行事予定】

4日（水）パイプオルガンの
演奏と賛美

18日（水）トーンチャイム演奏

25日（水）歌とバイオリンの
コンサート

ベテル句会

新年の

曾孫（ひまご）増えたる

家族会

（谷 節子）

思い出を

消してはなぞり

墓参り

（河田 和子）

ひつじ年

世の中 丸く

おさまりし

（門田 節子）

去年今年

明日の道は

崖なくや

（角田 正司）

玄関を

開けて米寿の

豆を播き

（平岡 恵風）

〈作者のコラム・平岡 恵風様〉

鬼は外、福は内。米寿はまだまだ若い。社会や家族の為にやる事が山程ある。みんな元気で幸せに生きましょうと気合を入れて、力一杯豆を播きました。そして福の神様を玄関から尊重にお迎えしました。

投句箱は受付・各病棟・5階リハビリ室に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。

※『ベテル通信』についてのご意見やご要望をお待ちしております。